

販売・レンタル種別とは

ふくろう建機レンタルでは、受注入力が必要条件となっており、受注入力＝レンタル契約入力と同じ位置づけで入力します。
その受注入力で、販売品とレンタル品およびレンタル品の様々な形態を区別するのが「種別」となります。

種別は明細単位で指定でき、指定した種別によって、入力できる項目や採用単価、金額計算方法などが自動で切り替わります。

見積受注入力

伝票指定
見積No 5 月末締め 税処理区分 請求時外税

得意先 00001 ふくろう販売株式会社
現場 000001 ○○工事現場

基本情報
状況 ☐ 見積 ☒ 受注 ☐ 予約 ☐ 失注 受注No 5 受注日 2014/05/28
開始日 2014/05/28(水) 配達日 2014/05/28(水) 時刻 : 出庫営業所 本社
担当者 9999 管理者 事業所 本社 ご担当者名 様
現場住所 TEL
現場地区 納入運賃 0 円
先方注文No 件名
摘要 現掛区分 ☒ 掛 ☐ 前受 メモ 無
納入期限 001 別途ご協議 納入場所 002 貴社ご指... 取引方法 003 別途ご協議 有効期限 004 発行後 2 ...

明細情報

行No	削除	伝区	商品コード	管理番号	倉庫	種別	配区	月数	比較日原単価	原単価	受注原価	基本料原単	基本料原価	補償料原単	補償料原価
		出荷	品名		数量	返却予定日	返区	日数	比較日単価	単価	受注金額	基本料単価	基本料金額	補償料単価	補償料金額
1	<input type="checkbox"/>	掛受注	0010001	S301	本社倉庫	日極	店頭	0	0.0	1,000.0	34,000	0.0	0	0.0	1,700
		未納	0.03m3 バックホ		1.0	2014/06/30	店頭	34	0.0	2,000.0	68,000	2,000.0	2,000	0.0	3,400
2	<input type="checkbox"/>	掛受注	0010001	S301	本社倉庫	月極日割	店頭	1	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	0.03m3 バックホ		1.0	2014/06/30	店頭	3	0.0	30,000.0	33,000	2,000.0	2,000	0.0	1,650
3	<input type="checkbox"/>	掛受注	0010001	S301	本社倉庫	月極比較	店頭	1	1,000.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	0.03m3 バックホ		1.0	2014/06/30	店頭	3	2,000.0	30,000.0	33,000	2,000.0	2,000	0.0	1,650
4	<input type="checkbox"/>	掛受注	0010001	S301	本社倉庫	一括	店頭	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	0.03m3 バックホ		1.0	2014/06/30	店頭	34	0.0	30,000.0	30,000	2,000.0	2,000	0.0	1,500
5	<input type="checkbox"/>	掛受注	0010001	S301	本社倉庫	販売	店頭	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	0.03m3 バックホ		1.0			0	0.0	30,000.0	30,000	0.0	0	0.0	0
		掛受注						0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0

明細で種別が切り替えできます。

種別ごとに入力できる項目や採用単価、金額計算方法が切り替わります。

種別には以下の分類があり、システム導入時、主なもので以下が使用できます。

種別分類	用途	金額計算方法
一括	一括請求するレンタル品で使します。 レンタル期間が締日をまたいだとしても、日割や月極で請求分割せずに初月で一括請求するレンタルで使します。	数量 × 一括用単価 ※休止日なし
日極一括	一括請求するレンタル品で使します。日単価で請求します。 レンタル期間が締日をまたいだとしても、日割や月極で請求分割せずに初月で一括請求する「一括」と同様ですが、日単価で金額計算されます。	数量 × 初月日数 × 日単価 ※休止日あり(初月のみ)
日極	日割計算で毎月請求するレンタル品で使します。 請求締切または返却処理でレンタル金額計算し、売上計上されます。 売上は各月の請求締めごとに分割で請求されます。 金額計算は日割単価採用し、日割計算されます。	数量 × 日数 × 日単価 ※休止日あり
月極日割	初月と返却月が日割で、継続月が月額固定で請求するレンタル品で使します。 請求締切または返却処理でレンタル金額計算し、売上計上されます。 売上は各月の請求締めごとに分割で請求されます。 初月の日数が1ヶ月以内の場合は日割で請求されます。 日単価は月割用単価 ÷ 30で計算されます。継続月は月極で請求され、返却月は日数が1ヶ月以内の場合は日割計算で請求されます。	月割期間: 数量 × 月単価 ※休止日なし 日割期間: 数量 × 日数 × (月単価 ÷ 30) ※休止日あり
月極比較	2ヶ月めまでは日割額と月割額を比較し、安価な方で請求するレンタル品で使します。 請求締切または返却処理でレンタル金額計算し、売上計上されます。 売上は各月の請求締めごとに分割で請求されます。 2ヶ月目までは開始日から終了日までの日割計算での請求額が月極請求額未満の場合は、日単価で日割計算され、超える場合は月単価で計算し請求されます。 返却月は日数が1ヶ月以内の場合は日割で請求されます。	月割期間: 数量 × 月単価 ※休止日なし 日割期間(初月): 数量 × 日数 × 日単価 ※休止日あり 日割期間(2ヶ月目以降): 数量 × 日数 × (月単価 ÷ 30) ※休止日あり
販売	様々な販売品(運賃や燃料代なども)で使します。 レンタルでない、販売品の場合に使します。 返却予定日や日数、月数、基本料、補償料は入力できません。	数量 × 販売用単価 ※休止日なし
減損	レンタル品の減損分の請求で使します。 商品を減損売上処理する場合に使します。 返却予定日や日数、月数、基本料、補償料は入力できません。	数量 × 減損用単価

種別名称は、導入後も自由に変更できます。

一括、日極一括、日極、月極日割、月極比較の分類となる種別は自由に他名称での種別追加が可能です、削除はできません。

販売、減損の分類となる種別は運賃、燃料など様々な種別を自由に追加でき、削除も可能です。

販売と減損以外は、基本料と補償料の入力が可能です。

補償料は種別に関係なく、日割で計算されます。



概要： 採用単価：一括レンタル用単価
 売上計上タイミング：出荷時
 継続伝票：作成する。ただし2ヶ月目以降は月数、日数、金額0で計上する
 休止日：無効

受注入力時

- ・ 数量×単価で金額を算出する
- ・ 期間が変更されても単価は自動変更されない。

売上計上時

1ヶ月め（レンタル初月）

- ・ 出荷時に受注単価、受注金額で自動売上計上する。
- ・ 売上日＝開始日
- ・ 休止日無効

請求期間

- ・ 開始日～終了予定日

2ヶ月め以降

返却がなかった場合

- ・ 請求締切処理にて継続レンタル売上传票を自動作成する。
- ・ 金額＝0
- ・ 休止日無効。月数＝0、日数＝0

請求期間

- ・ 前回締日翌日～請求締日

返却があった場合

- ・ 返却処理にて返却売上传票を自動作成する。
- ・ 金額＝0
- ・ 休止日無効。月数＝0、日数＝0

請求期間

- ・ 前回締日翌日～返却日

概要： 採用単価：日単価
 売上計上タイミング： **出荷時**
 継続伝票：作成する。ただし2ヶ月目以降は月数、日数、金額0で計上する
 休止日：有効。 売上傳票の日数 = 受注の日数 - 休止日数

受注入力時

- ・ 日数×数量×単価で金額を算出する
- ・ 出荷後の日数変更は不可。返却日設定時の日数再計算しない

売上計上時

1ヶ月め（レンタル初月）

- ・ 出荷時に受注単価、受注金額で自動売上計上する。（受注金額＝数量×日単価×日数）
- ・ 出荷時計上であるため、同月の返却有無は売上に影響しない
- ・ 出荷時は休止日設定不可のため休止日無効で自動売上計上。売上計上後に休止日設定は可能。
- ・ 売上日＝開始日

金額計算

例） 数量1、日単価100円、月末締め得意先の場合の各ケース別金額

7/1～7/31	100×31日＝3100円	（出荷時売上。返却日7/31指定）
7/1～7/31（休止1日）	100×30日＝3000円	（出荷時売上。返却日7/31指定。休止日有効）
7/1～7/20	100×20日＝2000円	（出荷時売上。返却日7/20指定）
7/1～7/20（休止1日）	100×19日＝1900円	（出荷時売上。返却日7/20指定。休止日有効）

請求期間

- ・ 開始日～終了予定日

2ヶ月以降

返却がなかった場合

- ・ 請求締切処理にて継続レンタル売上傳票を自動作成する。
- ・ 金額＝0
- ・ 休止日無効。月数＝0、日数＝0

請求期間

- ・ 前回締日翌日～請求締日

返却があった場合

- ・ 返却処理にて返却売上傳票を自動作成する。
- ・ 金額＝0
- ・ 休止日無効。月数＝0、日数＝0

請求期間

- ・ 前回締日翌日～返却日

概要： 採用単価：日単価
 売上計上タイミング：請求締切時（未返却分）、返却時
 継続伝票：作成する。
 休止日：有効。

受注入力時

- ・ 日数×数量×単価で金額を算出する

売上計上時

全請求期間共通

- ・ 返却分は返却時に、未返却分は請求締切処理時に売上自動計上する。
- ・ 売上日＝終了日（返却分）または請求締日（未返却分）
- ・ 休止日有効。

金額計算

- ・ 数量×日単価×請求日数で金額を算出する

例） 数量1、日単価100円、月末締め得意先の場合の各ケース別金額

7/1～7/31	100×31日＝3100円	（返却なし。継続売上）
7/1～7/31（休止1日）	100×30日＝3000円	（返却なし。継続売上。休止日有効）
7/1～7/20	100×20日＝2000円	（返却あり。返却売上）
7/1～7/20（休止1日）	100×19日＝1900円	（返却あり。返却売上。休止日有効）

請求期間（初月）

- ・ 返却した場合・・・ 開始日～終了日
- ・ 未返却の場合・・・ 開始日～請求締日

請求期間（2ヶ月目以降）

- ・ 返却した場合・・・ 前回請求締日翌日～終了日
- ・ 未返却の場合・・・ 前回請求締日翌日～請求締日

- 概要：
- 採用単価：月単価
 - その締切期間内の請求期間が一ヶ月未満の場合、月単価÷30を単価として採用する。
(一ヶ月判定は応当日(*)で行う)
 - 売上計上タイミング：請求締切時(未返却分)、返却時
 - 継続伝票：作成する
 - 休止日：日単価採用時、有効。月単価採用時、無効

＊応答日判定・・・1月は31日、2月は28日のようにカレンダーに合わせた日数で1ヶ月判定を行うことを意味します。

受注入力時

- 数量×((月数×単価)+(日数×単価÷30))で金額を算出する

売上計上時

全請求期間共通

- 返却分は返却時に、未返却分は請求締切処理時に売上自動計上する。
- 売上日=終了日(返却分)または請求締日(未返却分)
- 休止日は日割計算期間は有効。月単価採用時は無効。

金額計算

- 請求日数が一ヶ月の場合・・・数量×月単価
一ヶ月丸々貸出の場合は31日の月でも月単価を計上する。(31日分ではない。2月も28日分ではない)
この場合、休止日は無効とする。
- 請求日数が一ヶ月に満たない場合・・・数量×(月単価÷30)×請求日数
この場合、休止日は有効とする。

例) 数量1、月額5000円、(月単価÷30)÷167(端数切上)、月末締めの場合の各ケース別金額

7/1～7/20	167円×20日=3340円	(返却あり。返却売上)
7/1～7/20(休止1日)	167円×19日=3137円	(返却あり。返却売上。休止日有効)
7/1～7/31	5000円	(返却なし。継続売上。休止日考慮せず月単価採用)

請求期間(初月)

- 返却した場合・・・開始日～終了日
- 未返却の場合・・・開始日～請求締日

請求期間(2ヶ月目以降)

- 返却した場合・・・前回請求締日翌日～終了日
- 未返却の場合・・・前回請求締日翌日～請求締日

月極比較

* レンタル種別ごとの詳細仕様

販売・レンタル種別と金額計算について

概要： 採用単価：日単価（＝日割単価）と月単価。
日単価採用より月単価採用の方が売上金額が安い場合、月単価採用に自動的に切り替える。
日単価採用は初月のみ。3ヶ月め以降で端数日数の場合は月単価を日数で按分する。
売上計上タイミング：請求締切時（未返却分）、返却時
継続伝票：作成する
休止日：日単価採用時、有効。月単価採用時、無効

受注入力時

- ・ 月数＝0の場合、数量×日数×日単価 で金額を算出する
- ・ 月数≥1の場合、数量×（月数×月単価＋日数×月単価÷30） で金額を算出する

売上計上時

1ヶ月め

- ・ 返却分は返却時に、未返却分は請求締切処理時に売上自動計上する。
- ・ 売上日＝終了日（返却分）または請求締日（未返却分）
- ・ 休止日は日割計算期間は有効。月単価採用時は無効。

金額計算

- ・ 日単価×請求日数 > 月単価 の場合・・・数量×月単価
一ヶ月丸々貸出の場合は31日の月でも月単価を計上する。（31日分ではない。2月も28日分ではない）
この場合、休止日は無効とする。
- ・ 日単価×請求日数 ≤ 月単価 の場合・・・数量×日単価×請求日数
この場合、休止日は有効とする。

例）数量1、日単価500円、月単価5000円、月末締めの場合の各ケース別金額

7/15～7/20	500円×6日＝3000円	（返却あり。返却売上。日単価採用）
7/15～7/20（休止1日）	500円×5日＝2500円	（返却あり。返却売上。日単価採用。休止日有効）
7/15～7/25	5000円	（返却あり。返却売上。日割では500円×11日＝5500円となるため月単価採用に切替）
7/15～7/31	5000円	（返却なし。継続売上。月単価採用）

請求期間は

- ・ 未返却の場合・・・開始日～請求締日
- ・ 返却した場合・・・開始日～終了日

2ヶ月め

- ・ 1ヶ月目で月単価を採用して継続されている場合、または
2ヶ月目で月単価採用になった場合、1ヶ月目の請求額で赤明細を作成する。

金額計算

月単価を採用した場合

- ・ 月額採用する場合は、1ヶ月目の請求額で赤明細を作成する

月単価を採用した場合の請求金額

- ・ 開始日から1ヶ月以内 . . . 月額－前月請求額
- ・ 開始日から1ヶ月超 . . . 月額＋（開始日翌月日～請求終了日の日数）×月額÷30

例) 数量1、日単価500円、月単価5000円、月末締めの場合の各ケース別金額

1ヶ月目	7/25～7/31	500円×7日＝3500円	
8/3 返却の場合 日単価採用上限			
2ヶ月目	8/1～8/3	500円×3日＝1500円	※日単価採用 5000円
※本例の場合、日割額が月割額を超えない8/3までが日単価採用となる。			
8/4 返却の場合 月単価採用 ※単価採用の切替判断に休止日は考慮しない。			
2ヶ月目	7/25～7/31	-3500円	※前月分 5000円
	7/25～8/4	5000円	※月単価採用
※本例の場合、日割額が月割額を超える8/4からが月単価採用となる。			
月単価採用の場合、前月の日割額を打ち消す赤明細も自動で計上される。			
8/25 返却の場合 7/25～1ヶ月超			
2ヶ月目	7/25～7/31	-3500円	※前月分
	7/25～8/25	5167円	＝ 5000 + 5000÷30×1日 5167円
※開始からの日数が1ヶ月超えた場合、超過日数分は（月単価÷30）の単価で月額にプラスされて請求される。			

請求期間は

- ・ 未返却の場合 . . . 前回締日翌日～請求締日
- ・ 返却した場合 . . . 前回締日翌日～終了日

3ヶ月め以降

金額計算

- ・ 未返却の場合 . . . 月額
- ・ 返却した場合 . . . （前回締日翌日～請求終了日の日数）×月額÷30

請求期間は

- ・ 未返却の場合 . . . 前回締日翌日～請求締日
- ・ 返却した場合 . . . 前回締日翌日～終了日

補償料の考え方

ふくろう建機レンタルでは、レンタル種別の明細では補償料を入力することができます。

補償料は商品マスタで「定額」が「定率」かを選択できます。

定額・・・商品マスタの補償料単価が採用されます。

補償料＝数量×日数×補償料単価

定率・・・レンタル金額×商品マスタの補償料率 が採用されます。

補償料＝明細のレンタル金額×商品マスタの補償料率

※定率の商品は伝票入力時に補償料単価を入力できません。

定額の補償料の場合、一括レンタルの場合は請求月で補償料も全日数分が全額請求されます。

日極や月極日割、月極比較の場合は、補償料もレンタル同様に請求締切単位で分割して請求されます。

日極レンタルや月極日割、月極比較の日割計算期間の場合は、レンタルと同様にレンタル日数で日割計算されます。

補償料の日数には休止日は考慮されません。

見積受注入力

新規伝票

伝票指定

見積No

30

20日締め

税処理区分

請求時外税

得意先

99

ふくろう建設株式会社

現場

000001

〇〇建設現場

基本情報

状況

見積

受注

予約

失注

受注No

30

受注日

2013/12/04

開始日

2013/12/01(日)

配達日

2013/12/01(日)

時刻

:

出庫営業所

大阪本社

担当者

9991

テスト8

事業所

大阪本社

ご担当者名

様

現場住所

564-0028

大阪府吹田市昭和町2-X

TEL

06-1222-XXXX

現場地区

9999

その他

納入運賃

0円

先方注文No

件名

摘要

現掛区分

掛

前受

メモ

無

納入期限

001

別途ご協議

納入場所

002

貴社ご指...

取引方法

003

別途ご協議

有効期限

004

発行後2...

明細情報

行No	削除	伝区	商品コード	管理番号	倉庫	種別	配区	月数	日割原単価	原単価	受注原価	基本料原単	基本料原価	補償料原単	補償料原価
		出荷	品名		数量	単位	返却予定日	返区	日割単価	単価	受注金額	基本料単価	基本料金額	補償料単価	補償料金額
1	<input type="checkbox"/>	掛受注	99		共通倉庫	一括	店頭	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	2 トンダンブ		1		2014/01/10	店頭	41	0.0	100,000.0	100,000.0	100,000.0	1,000.0	41,000
2	<input type="checkbox"/>	掛受注	99		共通倉庫	日極	店頭	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	2 トンダンブ		1		2014/01/10	店頭	41	0.0	10,000.0	410,000	100,000.0	1,000.0	41,000
3	<input type="checkbox"/>	掛受注	99		共通倉庫	月極固定	店頭	1	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	2 トンダンブ		1		2014/01/10	店頭	10	0.0	10,000.0	13,333	100,000.0	1,000.0	40,000
4	<input type="checkbox"/>	掛受注	99		共通倉庫	月極日割	店頭	1	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	2 トンダンブ		1		2014/01/10	店頭	10	15,000.0	10,000.0	13,333	100,000.0	1,000.0	40,000
5	<input type="checkbox"/>	掛受注	99		共通倉庫	販売	店頭	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		未納	2 トンダンブ		1				0	0.0	100,000.0	100,000	0.0	0.0	0
		掛受注						0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0	0

休止日の考え方

ふくろう建機レンタルでは、休止日の設定ができます。休止日の設定には以下の2つの画面が用意されています。

休止日カレンダー画面 … 会社全体の休止日設定で使います。

現場別休止日設定画面 … レンタルの明細を検索し、明細ごとに休止日が設定できます。

現場別休止設定

検索条件
 得意先: 99 ふくろう建設
 現場: 000001 ○○建設現場
 現場名: を含む
 受注No:
 表示期間: 2013/12/01 ~ 2013/12/31
 伝票の事業所:
 表示: ☒ 返却残ありのみ
 検索(F1)

商品コード	品名	管理番号	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13
			日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
99	2 トンダンプ			X											
99	2 トンダンプ				X										
99	2 トンダンプ								X	X					

詳細情報
 配達日時: 2013/12/01 商品種別: 月極日割 受注No: 48-001
 開始日: 2013/12/01 出荷数: 1.0
 返却予定日: 2014/01/31 返却残: 1.0

【指定期間】 クリックすると休止の設定をすることができます

更新(F5) 取消(F6) 終了(F12)

日付をクリックすると×印で休止日が設定できます

◆ 休止日の適用範囲

- ・見積受注入力時は休止日の適用はできません。
売上傳票作成時に休止日設定が参照され、休止日を除外した請求日数が計算されます。
- ・種別分類の「一括」「販売」「減損」には休止日は適用されません。
- ・種別分類の「日極一括」の場合は初月の売上のみ休止日の設定が可能です。
- ・種別分類の「月極日割」「月極比較」の場合は、日割での計算期間のみが休止日適用されます。
- ・種別分類の「日極」の場合は、全期間で休止日適用されます。